

# 論壇

## 米中貿易摩擦に追い打ち

武漢で発生した新型のコロナウイルスの問題が、世界的な問題として広がりを見せている。その広がりスピードはあまりに速い。中国本土で1万人を超える人が感染し、250人を超える人がすでに死亡しているという報道もある。日本をはじめとして、近隣諸国はもちろんのこと、米国や欧州でも感染者が発見されている。このスピードでの事態の広がりをみると、今後さらに厳しい状況になることが懸念される。

中国政府はもちろん、各国政府は矢継ぎ早に対応を打ち出してい

伊藤 元重 (国際経済学) 学習院大教授

## 新型コロナウイルスと世界経済

張が延期されることになった。台湾は中国からは離れた場所にあるが、それでも感染者は出ており、今の段階で無理に出張する必要はないということだろう。

今回の問題はさらに深刻なのは、世界経済の景気が低迷している中で起きることだ。その背景には米中貿易摩擦で中国の輸出が落ち込んでいることがあるが、ウイルスという全く別の問題がその中国を襲っているのだ。これによって中国経済がさらに打撃を受けなければならない。

今回の問題はさらに深刻なのは、世界経済の景気が低迷している中で起きることだ。その背景には米中貿易摩擦で中国の輸出が落ち込んでいることがあるが、ウイルスという全く別の問題がその中国を襲っているのだ。これによって中国経済がさらに打撃を受けなければならない。

リスクが高くなったということだ。多くの投資家がリスクを避けるような行動に出ている。リスクの大きな株からリスクの小さい債券へ、そしてリスクの小さい円やドルのような通貨に資金が動いている。これを「質への逃避」(fly to quality)という。またこのように多くの人がリスクを避けるような流れに市場がなっていることをリスクオフと呼ぶ。

膨れた資産市場にリスク

困ったことに問題はそこに止まらない。これまで多くの国でデフレを避けるため、極端なまでに金融を緩和してきた。その結果、金利はかつてないほど低くなっている。それが株価や不動産価格を異常なまでに高い水準に引き上げている。米国や中国では企業などの債務も膨れ上がっている。これをバブルと呼ぶかどうかは別として、こうした過剰に膨れ上がった資産市場でクラッシュが起きるリスクは、市場関係者の多くが感じている。

だからこそ、市場がリスクオフに振れると、多くの投資家が市場の動向により敏感になる。そうした市場の負の連鎖が起こりやすい環境にあることを懸念する専門家も少なくない。コロナウイルスは金融市場とは無関係の存在のほうであるが、現在の金融市場の弱点を突く強烈な一撃となる可能性もある。現状で過度に悲観的になる必要はないが、今後の市場の動向には注意する必要があるだろう。

\*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。